



# SIMOT Research Center NEWSLETTER

No.10 2006.7



東京工業大学 インスティテューショナル技術経営学研究センターニューズレター

## 目次

	ページ
● イベント報告	日本企業の組織・制度・文化とITイノベーション 統合研究院ソリューション研究機構との討議 2
● 海外活動報告	INFORMS 2
● コラム	高い次元の欲求モデルを示すべき時 3
● 学生の目	SIMOTの研究と学生支援 3
● 最近の動き	4
● イベント予定	研究・技術計画学会 国際問題分科会 7月例会 東工大 第4回 Inter-COE21 シンポジウム 4
● 連絡先	4

東京工業大学では、21世紀COEプログラム「インスティテューショナル技術経営学 (SIMOT)」遂行の中核センターとして、「インスティテューショナル技術経営学研究センター (SIMOTリサーチセンター)」を設置いたしました。  
同センターの研究内容・活動を、広く内外に知っていただくことを目的に、毎月 SIMOTリサーチセンターニューズレターを刊行しております。



## ■ コラム ■

「高い次元の欲求モデルを示すべき時」 SIMOT リサーチセンター センター員/ 運営委員  
東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科助教授 田中義敏



20 世紀の輝かしい米国産業発展の下支えとして組織マネジメントに貢献してきた行動心理学。そして、「個」の欲求に軸足を置いた行動心理学分野で一際目に付くのが、「達成欲求」に高い関心を示した D.McClelland である。彼は、ビジネスマン、政府高官、軍人、政治家などの高業績者への長年のインタビューにより達成欲求を満たすための行動のスキルである「コンピテンシー」を体系化する。昨今我が国で叫ばれている「人間力」とほぼ同義である。

仕事も勉強もせず、その日暮的な生活を好むニートと呼ばれる若者が増えつつあり、少子化現象とあいまって我が国の将来が危ぶまれている。一方、バブル崩壊以降の景気低迷の中で新産業の創出が我が国産業の国際競争力を左右する。

若者がこのような危機感を共有し生き活きと社会に貢献していくためには、単に技術や経営の知識をつけるだけでは十分とは言えない。(問)「人間はなぜ行動するか?」(答)「個の欲求に基づき行動する」ならば、若者達に、「高い次元の欲求」を持たせ、これを達成するために必要な「人間力」を育成していくことが必要である。高い次元の欲求モデルを示す時ではないだろうか!



## ■ 学生の目 ■

### SIMOT の研究と学生支援

東京工業大学大学院社会理工学研究科

経営工学専攻博士課程 2年 Remy Magnier-Watanabe

発展途上国の安い労働力と製造技術の進歩によりそれまで優位であった国際競争力が侵された場合、先進国はイノベーションの奨励により景気を刺激することで、競争力を維持しようとしています。

SIMOT の研究目的は、イノベーションを起こすために技術革新そのものに邁進するとともに、ルーチンにより規制化された制度的なシステム (institutional system) と技術経営 (MOT) の間の齟齬を解消して、新しい発見が成長に貢献する好循環サイクルを形成することです。そのために SIMOT は、新しい学術分野として、知識の新しい体系を認識・構築・組織化する努力を重ねています。その一環として、SIMOT では、RA (リサーチ・アシスタント) と若手研究者育成支援プログラムを通じて、発展段階にある本学術分野のリソースに投資することによって、様々な分野について広く調査し、新たな洞察を最大限取り入れる努力をしています。

同支援を活用し、私は、組織的な特性がインスティテューションとしてどのように Knowledge Management (KM) を規定する因子の役割を果たしたか、について研究しています。その結果、日本の製薬企業の米英法人・支社に対するアンケート調査を通じて、企業が効率よく知識を獲得・蓄積・共有するための組織の構造、構成員、相互関係および戦略を示す新しい枠組み構築の研究に必要な定性的データを得ることができました。現在は、以上のケーススタディに加え、統計データを駆使しての実証分析を進めています。



### SIMOT とは・・・

SIMOTとは、「インスティテューショナル技術経営学 (The Science of Institutional Management of Technology)」の略称です。日本の技術経営が本来機能を回復するのを見据え、世界価値を創造するダイナミズムについての理論および方法論の探究を目指します。“サイモット”と呼称しています。

## ■ 最近の動き ■

### 海外出張

- 伊藤 7月8日~17日 オランダ マーストリヒト (16th Triennial Congress of the International Ergonomics Association IEA で基調講演)  
デンマーク (Risoe National Laboratory 「患者安全」に関する研究打ち合わせ)
- 飯島 7月5日~10日 マレーシア クアラルンプール (Pacific Asia Conference of Information Systems PACIS2006 に参加)
- 梅室 7月8日~17日 オランダ  
7月28日~8月12日 アメリカ (研修)
- 妹尾 7月9日~13日 トルコ イスタンブール (Portland International Conference on Management of Engineering and Technology PICMET06 にて発表)
- 永田 9月15日~23日 オーストラリア (The 7th Annual Conference of the Asian Academic Accounting Association での発表 University of Sydney, University of New South Wales 訪問)

## ■ イベント予定 ■

### 研究・技術計画学会 国際問題分科会 7月例会

- 日時 7月28日(金) 18:00~20:00  
場所 東京工業大学 百年記念館 第1会議室  
テーマ アジアの人々の見る日本：留学生4桁時代の提言 - インスティテューショナル技術経営学への示唆  
講師 仁科 喜久子 氏 (東京工業大学留学生センター教授)

### 東京工業大学 第4回 Inter-COE21 シンポジウムにおける SIMOT 見学会

- 日時 8月11日(金) 13:00~17:00  
場所 東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館 コラボレーションルーム  
テーマ 君たちの創るニュービジネス - 先輩社長の在学ベンチャー体験/革新商品の体感実験 -  
内容 東工大出身ベンチャー起業家体験トーク  
オイシックス株式会社 取締役 古府 裕雅 氏 (食材のメーカー通販販売)  
トリオンサイト企業組合 代表理事 高尾 正樹 氏 (ディスプレイバリエーションを用いたコミュニケーション施設の実施運営)  
有限会社mimi 理事 南里 陽介 氏 (携帯電話アプリケーションの開発販売)  
市場化前商品のデモンストレーション  
失敗ビジネスケース 再生ゲーム  
現役学生との交流会
- 参加 無料  
申込方法 大学HP参加申込フォーム <http://www.titech-intercoe21.jp/> で「J」を選択してお申込ください。

### ● ● 発行 ● ●



東京工業大学 21 世紀 COE プログラム  
「インスティテューショナル技術経営学」 SIMOT 事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-51  
東京工業大学大学院社会理工学研究科経営工学専攻内  
西9号館 208B号室  
TEL:03-5734-2936 FAX:03-5734-2250  
Email: [nakane@me.titech.ac.jp](mailto:nakane@me.titech.ac.jp)  
URL: <http://www.me.titech.ac.jp/coe/index.html>  
編集者: 菊池 隆